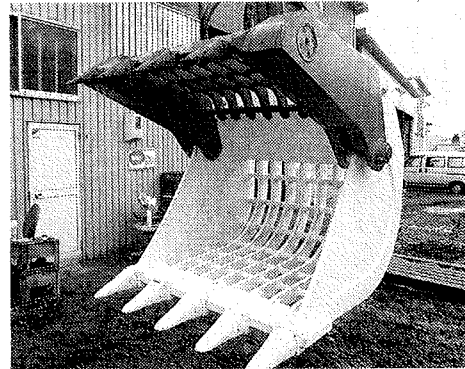
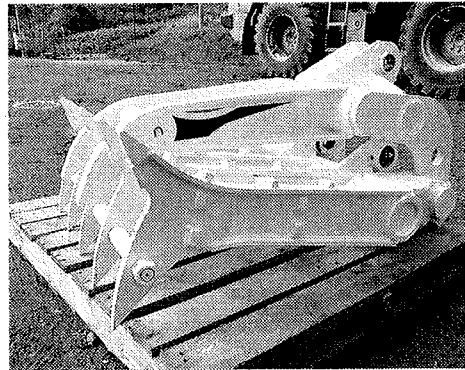


北海道建設新聞

第3種郵便物認可

新製品の「丹頂(上)」と「スグル」



新アタッチメント2製品発売

販売・リリース開始

古垣建設

古垣建設(本社・余市)は、バックホー全機種に対応するアタッチメントのレーキ兼用フォーク「丹頂」とシェイクハンドバケット「スグル」の販売・リリースを開始した。

丹頂は、刈草や家屋解体の際の残材をかき集める作業を背面のレーキ部分で担い、積み込み作業をフォーク部分で行える1台2役のアタッチメント。表土のすき取り・積み込み作業や、畑表層の除れき、敷きならし作業にも活用できる。

通常の積み込み専用フォークと同様のコストで導入でき、オプシヨンの専用フッシュ・ピンで全メーカーに取り付けることが可能。油圧配管も不要という。スグルは土砂などのふるい作業用のフォーク。通常のスケルトンバケットにふるい目のふたを装着したシンプルな構造により、排出面積を広げ作業効率を大きく向上。高含水比の土砂や粘性土などでも強制的にふるい作業が行えるため、天候に左右されずに工程管理が

可能となる。

丹頂同様、全メーカーに取り付けることができ、バケットの大きさやふるい目のサイズも特注できる。

いずれの製品も国土交通省の新技術情報提供システム(NETIS)に登録申請を予定している。

開発した桜庭健取締役は「省人力化、低コスト化により設計単価と実際の施工単価との乖離(かいら)を解消することが狙い。今後も現場の声をくみ取って、よりよい商品を開発していく」と話している。